

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公開番号】特開2007-31717(P2007-31717A)

【公開日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-005

【出願番号】特願2006-204697(P2006-204697)

【国際特許分類】

C 1 0 L 1/198 (2006.01)

C 1 0 L 1/224 (2006.01)

C 1 0 L 1/196 (2006.01)

C 1 0 L 1/22 (2006.01)

C 1 0 L 1/24 (2006.01)

C 1 0 L 1/2383 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 L 1/198

C 1 0 L 1/224

C 1 0 L 1/196

C 1 0 L 1/22

C 1 0 L 1/24

C 1 0 L 1/2383

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月14日(2009.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

本発明の添加剤の更に別の成分として好適なオレフィンコポリマー（成分V I）は、モノエチレン性不飽和モノマーから直接誘導し得るか、またはイソプレンもしくはブタジエンなどのポリ不飽和モノマーから誘導されたポリマーを水素化することによって間接的に製造することができる。好ましいコポリマーは、エチレンの他に、炭素原子数3～24の - オレフィンから誘導される構造単位を含みそして120000g / モルまでの分子量を有する。好ましい - オレフィン、プロピレン、ブテン、イソブテン、n - ヘキセン、イソヘキセン、n - オクテン、イソオクテン、n - デセン、イソデセンである。炭素原子数3～24の - オレフィンのコモノマー含有率は好ましくは15～50モル%、より好ましくは20～35モル%、特に30～45モル%である。これらのコポリマーは、少量の、例えば10モル%までの量の更に別のコモノマー、例えば非末端オレフィンまたは非共役オレフィンを含むこともできる。好ましいものはエチレン - プロピレンコポリマーである。該オレフィンコポリマーは公知の方法、例えばチグラー触媒もしくはメタロセン触媒を用いて製造することができる。